

令和 5 年度 市民大学前期講座プログラム(案)

「親子で学ぶプログラミング」

1 趣 旨

2020 年度から小学校でもプログラミングが必修化されました。それは、プログラミングを学ぶことにより、コンピューターの動作を想像できるようになり、身の回りのコンピューターをどのように活用するかという発想で様々な問題に向き合えるようになるからです。この講座では、センサーやモーター、ブロックでロボット等を製作できる「アーテックロボ 2.0」のセットを使って、プログラムで動くロボットカー等を作ります。その中で、コンピューターやプログラムがどのように活用されているかを、体験を通して学びます。

2 希望曜日・時間

第一希望： 土 曜日 午前 10 時 ～ 午前 12 時

3 講座コーディネーター

南雲 秀雄（新潟青陵大学 福祉心理学部 臨床心理学科 教授）

4 主な受講対象者（ターゲット）

小学校 4～6 年生および保護者

5 プログラム・指導講師

回	日にち	テーマ（25字以内）	内 容（60字以内）	講 師
1	7/22	交通信号機の模型を作ろう	5×5のマス目に並んだ25個のLEDをプログラムで赤、緑、黄色に光らせて交通信号機の模型を作ります。	南雲 秀雄
2	7/29	自動で動くゲートを作ろう	センサーからの信号によりサーボモーターを動かして、駐車場のゲートに見立てたバーを開閉します。	南雲 秀雄
3	8/26	ロボットカーを動かそう	赤外線フォトリフレクタのついたロボットカーをプログラムで自律的に動くようにします。	南雲 秀雄